

事業所名: グループホームおくら

作成日: 平成 29 年 3 月 27 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	・利用者が重度化した場合は、家族・主治医等と十分相談し、特別養護老人ホーム等への申し込み支援を行っているが、利用者の状態によっては、「看取り」を行う状況も想定されるので、当ホームとの提携医師からの勉強会、指導等を依頼し、職員の不安解消に努める。	・利用者・家族へは、原則「看取りはしない」旨の説明を行っているが、併設の有料老人ホームでは、2～3件の看取り事例があり、夜間帯は看護師も未配置であり、利用者の状態が急変した場合に職員が不安にならないよう提携医師による勉強会を実施する。	・グループホーム利用者の中には、家族の事情等から「看取り」を希望する人もおられ、看護師も夜間はいないことから、職員の不安解消のため、医療関係の知識の習得を目的として医師による勉強会を年2回開催予定である。	12 ヶ月
2	45	・週3回入浴を設定しているが、車椅子利用者の増加等によりシャワー浴が多くなっている。浴槽を工夫して、ゆっくり入浴を楽しんでもらうよう検討・改善を図りたい。	・車椅子利用者の増加、浴槽の深さ等の問題から職員の入浴介助の負担が増加しているため、建設業者等と相談のうえ、浴槽の段差を解消し、入浴できるよう改善を図る。	・浴槽の中に利用者が座れるような安定した段差を設け、利用者が湯船でゆっくり入浴できるよう浴槽内の設備の改善を図る。	6 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月